



災害事例

機械 ②

事故の型

転倒

業種

その他の各種建設事業

被災者

なし

発生状況

建物新築工事における外構工事を行う際に、トラック(積載荷重3.6トン)荷台からクレーン機能付きドラグショベルを移動式クレーン(定格荷重0.7トン、作業半径1.9m)モードとして、外構工事に用いるグレーチングを吊り上げて旋回する際に転倒した。(平成24年3月)



原因と対策

(原因)

- ・クレーン作業を行うにあたり作業計画を作成しておらず、吊り荷の重量を正確に把握していなかったため、結果的に過荷重のものを吊り上げて旋回を行った。
- ・過荷重の警報装置のブザーは鳴っていたものの、確認せずに作業を進めていた。

(対策)

- ・クレーンを使用する場合には吊り荷の重量とクレーン能力を考慮した作業計画を作成して作業を進めるとともに、移動式クレーン兼用機械を使用する場合にはモード切替ボタンを確実に切り替えて、安全装置を確実に使用すること。